

## 令和2年度（小田原東高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務の内外に拘らず、信用失墜行為の防止を心掛け行動する。	行政課発出の「不祥事防止職員啓発点検資料」等を活用して、教育公務員としての意識啓発に努め、法令遵守に基いた適正な行動をとることができた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等のない学校、職場を実現する）の防止	パワハラ、セクハラ、マタハラ等のない学校、職場を実現する。	職員会議や朝の職員打合せで、新聞記事等を活用するなどパワハラ等防止について周知し、風通しの良い職場環境づくりを行った。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ等のない、生徒にとって安心かつ安全な学校を実現する。	行政課発出の「不祥事防止職員啓発点検資料」や「ハラスメント防止リーフレット」を活用するとともに、職員に対して面談を実施して意識の向上を図った。
体罰、不適切な指導の防止	基本的人権の尊重の精神に基づき、体罰や不適切指導のない学校を実現する。	年度当初に「部活動指導ハンドブック」を活用して、意識啓発と注意喚起に努め、不適切な指導の未然防止につなげた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書発行に係る不適正事案のない学校を実現する。	成績処理日を設定して成績処理時間を確保して、事故防止に努めた。また、入学者選抜について特化した会議や研修会を事前に設定して、業務内容について職員に周知徹底して、事故を未然に防いだ。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理に努め、日常的な管理の徹底と事故防止を図る。	机上に教務手帳や個人情報を出しっぱなしにしないように周知するとともに点検や確認を行い、事故防止に努めた。また、個人情報持出については正規の手続きの徹底を図った。
交通事故の防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	生徒に交通安全教育を行う立場として、自ら交通違反、交通事故を起こさない。	行政課発出の「不祥事防止職員啓発点検資料」を活用するとともに、特に年末年始の時期に関しては、打合せで周知をして、教育公務員としての意識啓発に努めた。
業務執行体制の確保等	コンプライアンス（法令遵守）に基づいて、適正かつ円滑な業務執行を行い、働き方改革を進める。	次年度のグループ業務見直しを図るとともに、働き改革の視点から、稟議を活用してグループ会議や企画会議を円滑に進めるように努めた。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則った私費会計の適切で円滑な執行に努める。	私費会計について各会計担当者と連絡を密にとり、指導を行うとともに、財務事務調査の結果を職員会議で報告して、適切な処理を心がけた。

### ○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

事故・不祥事防止については、日ごろより日常の様々な機会を活用して、校務の内外を問わず「報告・連絡・相談」を徹底し、未然防止に向けて継続的に指導を行ってきた。今後も継続的に指導を行うことが重要である。昨今、職場では特に若手の職員が増加していることや、「働き方改革」の視点からも、より一層、取組を推進し、指導を継続していく。